

令和元年度 第2回苫小牧市美術博物館協議会（書面会議） 会議概要

基準日：令和2年3月31日(火)

審議委員：揚妻会長、林副会長、石川委員、居嶋委員、金田委員、
菊池委員、奥本委員、橋爪委員、山田委員 計9名

※本協議会については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、参集しての会議を中止し、書面にて会議を開催いたしました。

1 議事

(1) 苫小牧市美術博物館実施計画・3期目(令和2～4年度)の審議

3期目(令和2～4年度)について、事務局より説明。

<意見(整理・要約)>

	意見等	意見等に対する事務局の回答等
1	2活動基本方針(3)資料収集、保存方針について改善すべき点の優先順位をつけ実施すべき。	資料収集、保存方針については、改善すべき点のリスト化と優先順位を明確にし、対処いたします。
2	3事業活動計画(1)展示事業企画展において、地元ゆかりの作家展の開催については協議会委員と計画を策定する必要がある。また、「NITTAN ART FILE」の評価について明示して頂きたい。	地域ゆかりの作家を取り上げている展覧会シリーズ「NITTAN ART FILE」については、複合施設ならではの企画として、多方面から高い評価を頂いております。また、地元ゆかりの作家展の実施に際しては、委員のご意見を頂きながら実施したいと考えております。
3	3事業活動計画(2)教育普及事業(7)市民共同について。高齢化により次世代を担う自然・郷土史の研究・ガイドを行う市民が育っていないため、その育成が急がれる。	次世代の市民による継承については、館としても大きな課題のひとつとして捉えており、第3期計画の活動方針にも定めているところです。
4	3事業活動計画(4)調査研究活動について、調査研究のため学芸員が外部資金獲得を獲得できるようサポート体制を検討して頂きたい。	外部資金獲得の方策を調査するとともに、教育委員会への働きかけを行うなど支援体制を整えます。

	方針③「大学などの高等教育機関」を「大学などの研究機関」に「連携を深め」を「共同研究・共同プロジェクトを実施」ないし「検討」に変更すべき。	文面を修正いたします。
5	4 管理運営体制の具体的な計画を立てるべき。	防犯カメラ設置、災害時対応連絡網作成、緊急時、災害対策のマニュアルの設置、各種講習会の開催など管理運営体制の向上を進めます。

<結果> 委員9名中、承認9名で承認される。

(2)令和2年度事業計画の審議

令和2年度事業計画について事務局より説明

<意見(整理・要約)>

	意見等	意見等に対する事務局の回答等
1	地元史、自然環境について学べるシステムを創設して頂きたい。科目履修により有償ボランティアや補助的な職を得られるようであれば理想的である。また、PRの充実によりファン層の拡充を望みたい。さらに、事前告知を早めるようお願いしたい。	令和2年度は、館事業を支える担い手の育成を目的に、館ボランティアなどを対象とした生物標本作成行事を実施します。また、段階的に自然や歴史を学ぶシステムの構築を長期的視点で取り組んで参ります。PRについては、館独自のフェイスブックやツイッターを新規に開設したほか、様々な層にターゲットを絞ったPR方法を考え、通常より早めの広報を行います。

<結果> 委員9名中、承認9名で承認される。

(3)令和2年度予算についての審議

令和2年度予算について事務局より説明

<意見(整理・要約)>

	意見等	意見等に対する事務局の回答等
1	美術博物館活動及び調査研究費には、収藏品展・中庭展など普及事業に係る経費も含まれている。項目を別にし、実際の調査研究にいくら	学芸員の業務は調査・研究・展示・教育・収集・保存により成り立ち、収藏品展や中庭展示も日頃の学芸員の調査・研究の成果が展覧会として結実したものであり、性質

確保されているのかわかるように記載して頂きたい。	として異なるわけではございません。従いまして、今後の検討事項とさせていただくことをご理解をお願いいたします。
--------------------------	--

<結果> 委員 9 名中、承認 9 名で承認される。